

好きこそ物の上手なれ



宇佐見 太市

2000年4月の外国語教育研究機構の発足が私に日本の外国語教育の意義について考究する機会を与えてくれた。私が満50歳の節目の時でもあった。ちょうど7年前になる。

その頃から若者を取り巻く状況は一段と厳しくなった気がする。心の枯渇によって自滅の道を辿る若者たちの悲劇が、日々紙面を賑わすようになった。彼らにどのように手を差し伸べてやればよいのか。

国際化、情報化、異文化理解といったお題目を唱えるだけでは若者の心を捕らえることはできないと教育現場で実感した。これまで善だと信じてきた近代理性主体の学理からいったん脱して、根本的なパラダイム転換を真剣に模索すべきではないかと私は肌で感じた。

本来人間はそうやすやすと変わるものではない。現に、今も昔も人が何か行動を起こすには内発的なモチベーションあるいは欲求が要るのだ。アジアにおいて人気を博している日本語教育がこのことに対する証左の一例となるだろう。

アジア各国において今、実に数多くの若者たちが日本語学習を志望し、日本への留学を夢見ているらしい。識者によれば、彼らの動機の大部分は、日本のマンガ・アニメ文化への耽溺と憧憬にあるとのことだ。この現象はアジアだけに見られるものではない。

や日本の影響によってアメリカでも日本のマンガが大いに読まれるようになった。装丁も日本のマンガ形式で、右の頁から左の頁へと読み進むようになっていく。おそらく日本のマンガの人物造型の細やかさと絵の繊細さがアメリカの若者たちの心を捕らえたにちがいない。

元々マンガは西欧から日本に入ってきたが、それを日本特有のものに生成し、世界に向けて発信した。これにすっかり魅了されたアジアの国の若者たちは、翻訳ではなく、オリジナルの日本語で読むべく、日本語学習に励むようになった。しんから日本文化に精通したいという強い動機が主因である。

この一事例は日本の外国語教育全般にも言えることではないか。たとえば英語学習の場合、学生を虜にするのは一体何なのか。『ハリー・ポッター』のような物語なのか、英米の最先端の映画・音楽・演劇・ファッションなのか、それとも政治・経済事情なのか。胸をときめかすものが見つかりさえすれば、あとは自ずとその人の学習意欲は高まるだろう。学生が何を渴き求めているのか。私たち外国語教育担当者の務めは、彼らの魂の声に耳を傾け、その内的欲求に速やかに即応し、それを教育に昇華させる方途を考案することではないだろうか。

(外国語教育研究機構教授・同機構長)

HEADLINE

- 8 6 4 3 2
- 面 面 面 面 面
- 学部入学生の学費について
- 特集「キャンパス外へ広がる学び」
- 新役職者決まる
- 文部科学省G・P等教育改革支援プログラム採択
- 「キャンパス外へ広がる学び」
- 学部入学生の学費について
- 特集「キャンパス外へ広がる学び」
- 学部入学生の学費について

「広告研究部 Presents 関大検定」

世間で言う「学力」は、学生が「学力」を身につけて、一部の先生から話を聞くことがあっても、同時に、学業に対する「無気力さ」についても耳にする。今のところ少数ではあるが、非常に気がかりである。学力低下の原因が無気力にあるのか、無気力の結果が学力低下につながったのか。いずれにしてもこのままいずれにしてもこのまま良いという状況ではない▼スポーツなどの競技を行っている人に対しては、共感を得ることが多いと思うのだが、勝負に「勝つ」という気力を失った時点で、勝負の結果は決まったようなものではないだろうか。学問・学業自体に勝敗というものはない、ほとんど無関係に近いように思うが、何事も気力を持って「成就することには、勝負に「勝つ」ことに似たものがあるように思う▼また、社会は、大学に対して多くのことを求めている。研究教育、社会貢献、自己点検・評価、外部資金の獲得、就職や大学院への進路指導、スポーツ振興などなど。変革の時代にあつて、多方面で強い関西大学を築くためには、相当な「勝つ」気力を保たねばならないと感じている。(下家 浩二)

「日本及東洋美術史」担当：長谷洋一文学部教授

生で見る芸術作品 研究の土台に

文学部2年次生 安丸 菜佑さん

私の所属する文学部総合人文学科芸術学美術史専修では、絵画や彫刻、建築などといったさまざまな芸術作品を題材とし授業・研究を行っている。

ふだん授業ではスライドなどといった視覚教材を用いて講義が行われているが、そうした講義の一環として、実際の芸術作品を生で見るために美術館や博物館に足を運ぶことがある。

「実際の芸術作品を目の当たりにし、その場で先生の説明・解説を聞く」

この行為から得られる知識や関心は実に有意義なものである。



芸術作品を前に能動的に学ぶ

なぜなら、ふだんの講義では視覚教材として、スライドやビデオなど作品を人為的にある一定の角度から切り取った媒体を介して鑑賞するため、作品鑑賞の視点が一つとなり、自ずから、与えられる知識を

ただ受動的に受け取りがちになる。それに対して実物を前にすると、自分なりの見方で能動的にその芸術作品を鑑賞することができ、今までとは違ったさまざまな視点を得、そこからさまざまな疑問を見いだすことができるからである。

そして、そうして生まれた疑問は、その場で先生にすぐ質問し、答えや解決の糸口を見いだしてもらうことで、薄れることなく記憶に残り、知識として定着していく。それが、さらなる興味・関心の種となり、授業や研究においてさらに学びを深めるための土台となっていくのである。

このように、大学の教室内だけでなく学外に飛び出して、実際の、実物の世界を学びの場としていくことで、受動的な学習ではなく、能動的な、積極性のある学習を実現することができる。私は、これからさらにこういった、学外での学びの機会が増えればと思っている。

キャンパス外へ 広がる学び

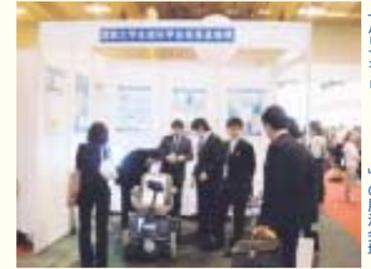
大学教育で期待される、専門的知識の蓄積は、現実社会の活動における検証でより確かなものになる。実体験を通じて培われた視点は「学の実化」を理念とする本学で学ぶ学生にとって、学びを広げ、強くしてくれることだろう。今回の特集では、キャンパスの外に学びの場を求めて活動している学生から、学んだこと、よかった点などを活動の紹介もかねて寄稿してもらった。

「特別研究」担当：倉田純一システム理工学部准教授

展示会で得た 利用者の声

工学部4年次生 豊田 竜也さん

私は制御工学研究室に所属している。私が行っている研究は、「ハンドル式電動車いすの改善」である。ハンドル式電動車いすは、ハンドル操舵とアクセルレバーのON、OFFで運転することができ、比較的容易に操作できる。また、道路交通法では歩行者として扱われ、歩道の走行が可能であり、運転するために特別な資格の必要がないため気軽に利用できる。しかし、従来の車いすよりも、車体の大型化や構造上の問題で旋回半径が大きくなってしまい旋回が困難となることもある。そのため現在はいかに旋回半径を小さくできるかということに重点をおいて研究をしている。



「バリアフリー2007」の展示会場

今年の4月に行われた「バリアフリー2007」という総合福祉展示会に、制御工学研究室として参加し、私たちが開発しているハンドル式電動車いすを展示した。企業関係者、福祉関係者、もちろん福祉機器の利用者と、多くの人びとの来場を得た。そこで感じたのは、相手に伝える難しさである。研究室で日常

的に使っている言葉では、一般の人には理解できない言葉もあり、訪れたすべての人びとに仕組みを理解してもらうのに大変苦労した。しかし、福祉機器利用者の生の声を聞くことができたこと、訪れた人びとから研究に対するアドバイスをもらったりと、大変貴重な経験となった。この経験を生かし、日々研究に取り組んでいる。

「専門演習」担当：三谷 真商学部准教授

商店街の活性化 考え、動かす

商学部3年次生 池本 結美さん

私はゼミの活動の一環で、商店街の活性化をめざし商店街でのイベントの企画・運営をしている。月に一度、尼崎商店街で「三和市」というイベントがあり、母の日や父の日、ハロウィーンなどにちなんで自分たちで企画したイベントを行っている。5月と6月の母の日、父の日には、ある企業にスポンサーになってもらい抽選会を、7月には商店街のお店にスポンサーになってもらい、商店街オリジナルの宝くじを企画した。8月には夜市があり、屋台を出した。その他にも、関大前の商店街やJR吹田の商店街についても「どんな店が流行するのか」というテーマで調査を行ったりした。



商店街オリジナル宝くじの抽選発表

このゼミの活動では、紙の上での勉強ではなく実際に自分たちで行動でき、毎回貴重な体験をさせてもらっている。普段なかなか経験できないことだからこそ、とても新鮮で楽しい。そして、ゼミ生のみんなと話し合っただけで企画を練り、自分たちでその企画を運営する過程で多くのことを

学ぶことができる。自分たちの考えた企画が通った時は素直にうれしい。しかし、いつもそのまま企画が通るわけではなく、理想と商店街側の現実ギャップがあり企画の難しさを感じたこともたびたびある。ただ単に商店街活性化といっても、多くのことを考慮した上で企画を考えなければならぬ。そういった問題をふまえて、この活動が今後の自分にプラスの経験となるよう、引き続き頑張っていきたい。

「専門導入ゼミ1」担当：橋口勝利政策創造学部専任講師

まちづくりの 「現場」を学ぶ

政策創造学部1年次生 松永有紗佳さん

現在、「格差社会」という言葉が話題にのぼっている。私が所属するゼミでは、地域と都市の格差問題について注目し、「地域興し」としてのまちづくりを学習している。



京都伏見の地域興しを実地体験

第1回目のフィールドワークでは、「THE・FUSHIMI」という地域雑誌の編集を担当する望月斐加さんの案内により、京都伏見のまちづくりを体験した。伏見は、「港町・宿場町・城下町・酒蔵のまち」として知られ、ヒト、モノが往来するターミナルとしての役割を担っていた。そのため、貴重な歴史、文化を持つ建物が大切に保護されている。しかしそれでは、見て楽しむだけであって、「宝の持ち腐れ」となってしまう。伏見というまちを肌で体験できない。そこで、地域、企業の人たちが立ち上がり、「地域資源を生かしたまちづくり」を実施することとなった。昔ながらの酒蔵を飲食店やお土産処などに改築し、観光客が足を運びやすくなる。また、坂本龍馬ゆかりの寺田屋にも実際に宿泊できる。そして商店街も当時の風景を再現するために、白

壁、土佐杉、ガス灯風街路灯などを整備した。伏見は、「地域の人たちが住みやすいまち」を根本におき、その土地の特徴を生かして、まちを活性化させようとしている。ただ観光地にするのではなく、住民をも大切にしたいまちづくりをめざしているのだ。私たちは、各地のまちづくりを実際に体験し、まちづくりの特徴や問題点について、ゼミの時間で発表し、レポートにまとめている。市民に直接話を聞き、そのまちのまちづくりを学び、またどのような取り組みが適しているかについて、これからも勉強していきたい。

「特別研究」担当：西澤英和環境都市工学部准教授

現場が教えて くれること

工学部4年次生 安居 美幸さん

学外活動の良いところは、たくさんの人と出会えることだ。そしてその人たちにとって私たちは「建築の専門家」であり、時には突拍子もない質問をされたりもする。建築を知らない人たちが会話を交わすことは表現力を豊かにするだけでなく、自分自身の建築に関する理解を深めることができる。2007年3月25日、マグニチュード6.9の能登半島沖地震が発生した。



地震でずれた水平レベルを測定中

私は、所属している研究室の西澤先生が門前町にある瀬戸邸の修復事業に参加している関係で、地震から3カ月経った被災地へ足を運んだ。瀬戸邸は地盤の変状により、崩壊寸前までの被害を受けたと考えられている。この修復事業は私たちだけでなく、伝統技能

者や他大学等の協力のもと進められており、復旧工事だけでなく調査研究も同時に行われている。私たちの研究室では、「伝統建築の耐震性と保存」について研究しており、今回、地震の被害調査だけでなく、被災した伝統家屋の復旧を支援している。

3カ月経過後被災地は、すでに解体されて更地となっているところも目立つが、多くの伝統木造家屋が建っていた。それは大地震で被災した場所とは思えない程、伝統家屋が多く残っていた。伝統木造は地震に弱いという風説が流れ、被災した建物は解体されることが多い。だが、実際は地震に耐え、被災し傾いた建物でも修復することが可能である。私は、実際に被災地の被害状況を目の当たりにし、木造建築のすこさを実感した。このことも実際の現場でしか得ることができないと思っている。

「卒業研究」担当：大西正曹社会学部教授

CATV番組制作 6分間に情熱

社会学部4年次生 清水 愛さん

ビデオカメラを片手に取材用のメモ帳を握り締め、私たちが向かった先は東大阪市にある恩智川。私たちのゼミでは、東大阪ケーブルテレビと一緒に番組制作活動に取り組んだ。

4班に分かれ、それぞれ東大阪で取り上げたいテーマを探してきて取材に行く。番組の企画書立案、取

材、インタビュー、編集に至るまで、すべて全く経験のないところからのスタートだった。そして私たちの班が選んだテーマは、恩智川のクリーンアップ活動にボランティアで取り組んでいる人びとの取材だった。

今回の取り組みで特に強く感じたことが三つある。一つ目は、番組制作の裏側では、実際に放映される何十倍、何百倍もの時間が費やされ、会話が交わされているということ。二つ目は、取材から編集までの流れで、「一番伝えたいことは何か」、「視聴者の視線で見た時にどのように伝わるか」ということを常に考えなければならぬということ。三つ目は、現場で取材をするにあたって、お互いが伝えたいことの相互理解、取材先の人たちとの信頼関係が特に大切であるということである。

素人の学生が作ったほんの6分程度の短い番組ではあるが、近々放映されることが決まっている。カメラワークにしても、ナレーションにしても、お世辞でもうまいとは言えない。しかし、私たちがその6分間に掛けた情熱は、きっと人生の糧となるだろう。



番組中、インタビューにて取材

「専門演習」担当：喜多千草総合情報学部准教授

取材で実感 地元との繋がり

総合情報学部3年次生 越智 奏子さん

私のゼミでは、「自分たちのメディアをデザインする」という今年度のゼミテーマに合わせて、ウェブサイトや案内冊子などを作成し、「総合情報学部について発信する」という活動を行っている。

私の担当は、その中の冊子作り。11月に行われるオープンキャンパスで高校生や保護者に配布できることを目標とし、作成に取り組んでいる。冊子では、授業や施設、ゼミなどの紹介はもちろん、それ以外にも、より総合情報学部に興味を持ってもらうように、普段学生がよく行く高槻駅周辺のオススメのお店を紹介したり、クラ



高槻駅周辺をカメラで撮影

ブ活動・サークル活動などに積極的に参加して、充実した大学生生活を送っている学生を紹介したりもしている。

高槻のお店紹介では、取材の承諾や写真撮影の許可をもらう時に、従業員の人たちの反応がとても不安だった。しかし、話をすると、そのお店にアルバイトとして総合情報学部生が働いていたり、お客としてよく来ていたりすることから、快く受け入れてもらった。この活動を通して総合情報学部生と高槻の地域の人びととの繋がりを感

じることができた。クラブやサークルで頑張っている学生の紹介は、友だちに取材を依頼した。取材を通して、陰での努力やクラブやサークルに対する熱い思いなどを知らることができ、普段友だちとしてでは知り得なかった一面を発見できた。

今回、この冊子作りを協力してもらった人びとのために、そして、総合情報学部をもっと認知してもらうためにも、この冊子作りを頑張らせて成功させたいと思う。

「特別研究」担当：吉田宗弘化学生命工学部教授

都市に住むチョウ 何を知らせる?

工学部4年次生 石井 佑磨さん

ひらひらと優雅に空中を舞い、私たちに憧れという感情さえ覚えさせるチョウ。みなさんは普段こういった視点からチョウという生き物を見ているのだろうか。私の場合、おそらくみなさんとは少し違った視点からもチョウという生き物を捉えている。



里山のチョウ

原始的な自然環境が、私たち人間の活動によって、農村、さらに都市環境へと変化するに従い、そこに棲息するチョウの種類と優占順位は変化していく。そこに注目すれば、チョウという生き物をとらえて、ある地域の自然環境が人間活動にどの程度影響を受けているかを評価することが可能となるのである。私は、実際に吉田宗弘教授と

もに汗を流し、大学キャンパス、都市緑地、および里山を対象にチョウ類群集に関するトランセクト調査を行っている。生息密度、多様性指数、およびその他の生態学的環境指数をコンピュータを用いて計算し、都市の自然環境を評価するシステムを確立することが目的だ。チョウという目に見える存在による評価は、機器を用いた物理化学的な環境評価よりも人びとの実感に近いものになると信じている。



キャンパス内を調査に出発

さて、チョウという生き物の見方に変化はあったのだろうか。自然との共存を望むからこそ、自然から送られてくるシグナルに敏感でなくってはならない。自然への尊敬を忘れる事の無きよう。

表 1 平成20年度および平成21年度 学部入学生の学費

Table with columns for '区分\年次', '1年次', '2年次', '3年次', '4年次', and '納付総額'. It lists tuition fees for various faculties like Law, Economics, and Engineering for both 2007 and 2008.

(注) 1 入学金は、入学年度のみ徴収する。
2 4年を超えて在籍する者の学費は、4年次の学費を適用する。
3 文学部総合人文学科心理学専修においては、3年次および4年次に実験実習料をそれぞれ10,000円徴収する。

Table with columns for '区分\年次', '1年次', '2年次', '3年次', '4年次', and '納付総額'. It lists tuition fees for various faculties like Law, Economics, and Engineering for both 2008 and 2009.

(注) 1 入学金は、入学年度のみ徴収する。
2 4年を超えて在籍する者の学費は、4年次の学費を適用する。
3 文学部総合人文学科心理学専修においては、3年次および4年次に実験実習料をそれぞれ10,000円徴収する。

表 2 平成18年度 消費収支決算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」

Summary table showing '一人当たり支出計' (1,517,051円) and '一人当たり収入計' (1,440,448円) with breakdowns for personnel, research, and subsidies.

1 (消費支出+基本金組入額) および帰属収入の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数29,828人(大学院・学部・高校・中学・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金返済、または、将来取得するための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

ご理解とご協力を
このような本学の状況を踏まえ、今日の経済・社会情勢、本学の財政予測、学費の社会的水準などを十分考慮し慎重に検討いたしました結果、やむを得ず、平成二十一年度学部入学生の学費を表1のとおり改定するご協力をお願いいたします。

- 可視化情報学会
可視化情報学会第十八期大会賞論文賞
システム工学部専任講師
システム工学部教授 大場 謙吉
大学院工学研究科M二種口 勝啓
大学院工学研究科M一 榎原 千礼
(平成十九年七月二十四日)
○在阪神戸オランダ国総領事館
○ベルギー・フランドル交流センター
○「第一回オランダ語スピーチコンテスト」カテゴリーB 最優秀賞
大学院外国語教育学研究科D三
(平成十九年七月十九日)
○大阪府・大阪府教育委員会
大阪スポーツ賞
(平成十九年九月二十二日)
高橋 大輔

大学を取り巻く環境

二十一世紀は知識基盤社会であり、新たな知の創造、継承、活用が社会の発展の鍵となる時代を迎えています。本学が魅力的な大学であり続けるために、教育研究の質的向上を図り、学生生活の支援を推進することは、ますます重要な課題となっています。そのため、あらゆる資源と活力を結集し、さまざまな分野に「強い関西大学」の構築を推進していきます。

学部入学生の学費について

平成20年度および平成21年度

充実した教育・研究のための基盤整備
「社会貢献」の実現のため、絶え間ない教育改革を推進しています。また、学教職員の増員等による人的基盤の強化、さらなる学術的向上を図り、学部から大学院まで、各学部におけるカリキュラムの見直し、法科大学院をはじめとした各種専門学部の設置など、多岐にわたる取り組みを行っています。また、文部科学省の補助金事業である大学教育振興事業、私立大学教育振興事業、私立大学学術研究高度化推進事業をはじめ、各学部におけるカリキュラムの見直し、法科大学院をはじめとした各種専門学部の設置など、多岐にわたる取り組みを行っています。

学習環境およびアメニティの整備
第一学舎一号館の建替、第二学舎二号館の建替の検討、第四学舎三号館の建築および一号館の改修、総合研究棟の建築、千里山北広場の造成など、快適な学術環境の造成に、快進撃を遂げ、学術的に卓越した大学院の教員、スタッフの関心と

学生サポートの強化
本学では、学生と教員との双方方向による学習支援システムの導入、新たな学生支援システムの開発の検討など、最新のIT技術を活用したきめ細やかな学生サポートを展開しています。また、平成十八年度の教務センター設置により窓口業務を一元化させ、学生サポートの質的向上とともに、授業支援および学生支援などについて更なるサービス向上を図りました。さら

さらなる拡充
「グローバル化への対応」
本学では、協定大学の拡充や多様な国際化プログラムの提供などにより、国際的なネットワークを形成する環境を整え、社会的な要請に応えるため、先に記した事例をはじめとした教育・研究の質を向上させるための諸改革を強力に推進し、また、これに伴う施設設備を整備することの重要性から、積極的な財政支出を講じなければならぬ状況にあります。このため、単年度の収支として、学生生徒等一人当たり支出面では、財政的な展望に裏打ちされた中長期総合事業を策定することにより、計画的・持続的な本学の発展を図り、その実施にあたっては、内容を厳しく見直し、経費削減をはじめ、限られた財源の中で

- 文学部教授 澤井 繁男著
「教育ババ血風録」
(平成十九年五月二十五日・日外アソシエーツ・定価千八百八十円(税込))
「からだ、不可解なり」
(平成十九年六月二十五日・日外アソシエーツ・定価千八百八十円(税込))
「鳥の北七星」考
(平成十九年七月十日・未知谷定価千六百八十円(税込))
○文学部教授 木岡 伸夫著
「風景の論理」流転から語りへ」
(平成十九年七月二十日・世界思想社・二千四百十五円(税込))
○文学部教授 竹内 洋著
「大学」という病 大塚 大輔 著と教授群像
(平成十九年七月二十五日・中央公論新社・定価九百八十円(税込))

育研究拠点形成のために重点的な支援を行うプログラムです。私立大学では本学を含め四校という狭き門であり、この結果は「研究的に強い関西大学の証」といえます。

必要最小限の支出で最大限の効果をもちます。合理的に、効率化を推進してまいります。また、収入面では、学費依存率を低く抑えるべく、国庫補助金や競争的資金等の積極的な獲得、保有資産の有効活用、寄付募集の展開、企業との連携、事業収入の拡充など可能な限りの自助努力を行っています。



関大通信 第347号

平成19年(2007年)10月12日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は11月29日発行の予定です

広告研究部
Presents

関大検定

?全問正解できますか?

みなさん!関大のことをどれくらい知っていますか?

今、いろんな検定があるよね。
そこで、121年の歴史を誇る関西大学でも、「関大検定」を作ってみました。
この検定で、関西大学についてもっと詳しくなっちゃおう!



関大検定応募要領 >>>

- 成績優秀者上位10人に抽選で、関西大学オリジナルグッズ「醤油粕石鹸<KU SOAP>」を進呈
◆応募期間：10月12日(金)~11月12日(月)
◆応募資格：本学学生
◆応募方法：インフォメーションシステムのアンケートに上記期間中開設する『関西大学通信』第347号「関大検定」回答フォームから回答
◆結果発表：次号、第348号(11月29日発行予定)に解答を掲載

関西大学学術研究会広告研究部

私たち広告研究部は、フリーマガジン「KandaiWalker」やフリーペーパーの制作、広告代理店活動、公募への挑戦などを行っています。
今年の関西大学統一学園祭でも「KandaiWalker」を無料配布しますので、ぜひご覧ください!



広告研究部公式サイト(コウケンHP) http://kandaikouken.web.fc2.com/

テーマ データ

- Q-9 総合情報学部がある高槻キャンパスは、甲子園球場の何倍の広さでしょうか?
(a)9.0倍 (b)11.6倍 (c)15.8倍 (d)20.4倍
Q-10 関西大学の学生を出身地別にみると、第1位の近畿に次いで出身学生数が多いのはどの地方でしょうか?
(a)東海地方 (b)中国地方 (c)四国地方 (d)九州・沖縄地方
Q-11 関西大学速記部は、全日本大学速記競技大会で現在何連覇中でしょうか?
(a)9連覇 (b)19連覇 (c)29連覇 (d)39連覇
Q-12 平成18年度末現在、総合図書館と高槻図書館を合わせた蔵書数は何冊でしょうか?
(a)約100万冊 (b)約150万冊 (c)約200万冊 (d)約250万冊



テーマ 学生生活

- Q-1 平成19年10月現在、関西大学にはいくつの学部があるでしょうか?
(a)7学部 (b)8学部 (c)9学部 (d)10学部
Q-2 関西大学学歌1番で、「関西大学」が3回続いた後のフレーズは何でしょうか?
(a)長き歴史 (b)重き使命 (c)高き権威 (d)強き精神
Q-3 関西大学のセミナーハウスのうち、平成18年度の年間利用者数が最も多かったのはどれでしょうか?
(a)飛鳥文化研究所・植田記念館 (b)高岳館 (c)白馬梅池高原ロッジ (d)六甲山荘
Q-4 今年度のエクステンション・リードセンターでは、いくつの講座を開講しているでしょうか?
(a)9講座 (b)11講座 (c)13講座 (d)15講座



テーマ 歴史

- Q-13 関西大学の前身である、関西法律学校が設立されたのは何年でしょうか?
(a)1868年 (b)1886年 (c)1905年 (d)1922年
Q-14 関西法律学校は、ある寺院の一角で誕生しました。その寺院の名前はどれでしょうか?
(a)法善寺 (b)西観音寺 (c)願宗寺 (d)興正寺
Q-15 関西大学学歌の作曲者は誰でしょうか?
(a)服部嘉香 (b)中村良之助 (c)滝廉太郎 (d)山田耕筰
Q-16 関西大学と関西学院大学のスポーツの対戦、伝統の総合関関戦。過去29回の対戦成績は次のうちのどれでしょうか?
(a)本学の15勝14敗 (b)本学の14勝15敗 (c)本学の20勝9敗 (d)本学の9勝20敗



テーマ 人物

- Q-5 関西大学の前身である、関西法律学校の初代校長は誰でしょうか?
(a)小倉久 (b)井上操 (c)吉田一士 (d)ポアソナード
Q-6 千里山キャンパス内に設置された偉大なる先人達の胸像で、ひげが一番長いのは誰でしょうか?
(a)久井忠雄 (b)山岡順太郎 (c)児島惟謙 (d)岩崎卯一
Q-7 落語家の桂三枝さんは関西大学の出身ですが、どの学部にて在籍していたでしょうか?
(a)法学部 (b)文学部 (c)経済学部 (d)商学部
Q-8 かつて、関西大学の教授であったジャーナリストは誰でしょうか?
(a)筑紫哲也 (b)鳥越俊太郎 (c)大谷昭宏 (d)田原総一郎



テーマ トリビア

- Q-17 関西大学の校章は何をイメージしているでしょうか?
(a)学長の王冠 (b)学生の手と手 (c)千里山の竹 (d)淀川の葦の葉
Q-18 千里山キャンパスの総合図書館は、元々何があった場所に建てられたでしょうか?
(a)プール (b)グラウンド (c)学舎 (d)体育館
Q-19 関西大学には、日本に現存するなかで最も古いとされる、ある有名ブランドのトランクが保管されています。その有名ブランドとは何でしょうか?
(a)ルイ・ヴィトン (b)グッチ (c)エルメス (d)プラダ
Q-20 関西大学のスクールカラーは何色でしょうか?
(a)えんじ色 (b)深緑 (c)紫紺 (d)藍色



記録的な猛暑が続いた今年の夏も終わり、新学期の開始とともに大学キャンパスに活気が戻ってきた。学生諸君は有意義な夏休みを過ごせたであろうか。二カ月近くの間、何も拘束されない自由な時間を過ごす機会は、今後の人生でなかなか得られないものだと思う。ここで得た経験を糧に心機一転して新学期の学業に励んではほしい。今月号は、少しだけ、最終面の関大検定は、楽しみながら学内の様子を知ってもらうことを目的とした大変ユニークな企画である。一般常識から高度な知識を要する難問までさまざまなレベルの出題がなされているが、読者のみなさんほどのくらい正解できただろうか。(林 武文)



編集後記

宇佐見 太市(うさみ たいち)教授
専門は英国小説研究と英語教育。文化的・文学的考察が英語教育への応用篇の一つとなりうるという信念のもと、これまでの自らの仕事を踏まえて現在は、人間の言語発語行為の多層性・重層性に関心を抱いている。現在、外国語教育研究機構長。



今月の表紙